



目次

1. 開催のご案内

- (1) 第35回日本実験動物技術者協会東海支部総会 2

2. 報告事項

- (1) 平成20年度 第3回役員会 3
(2) 『第12回技術交流会』 3
 参加者からの感想文 3

3. その他

- (1) 年会費について 5
(2) HPのおしらせ 6



1. 開催のご案内

(1) 第35回日本実験動物技術者協会東海支部総会

日 時 : 平成21年4月25日(土) 13:30~17:00
(受付 13:00~13:30)
会 場 : 名古屋大学医学部基礎医学研究棟会議室
(詳細 <http://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical/101/m10109.html>)
参加費 : 会員:500円 非会員:1,500円
懇親会 : 3,000円

【総会議題】 13:30~14:00

- ① 平成20年度事業報告及び決算報告
- ② 平成20年度収支決算報告・備品目録および会計監査報告
- ③ 平成21年度事業計画(案)
- ④ 平成21年度予算(案)
- ⑤ 支部役員の改選について
- ⑥ その他

【研究会】 14:10~17:00

「特定環境物質について考える」

講演1 「特化物の法改正に伴うホルムアルデヒド(ガス燻蒸含め)の取扱いに関する法の概要や解釈について」(仮題)
メルシャンクリンテック 松岡 寛先生

講演2 「ホルムアルデヒド規制内容とその対策」(仮題)
サクラファインテックジャパン(株) 林 利行先生

フリーディスカッション

大学および製薬企業等のホルマリンの扱いに関する問題点など

出欠の有無を同封の返信用はがきに必要事項を記入後、4月15日までに支部事務局まで必ず返送してください。なお、PDF版の会員の皆様には別途往復はがきを送付いたしますので、返信はがきに必要事項を記入後、返送してください。非会員の方で参加希望の方は支部事務局まで e-mail、FAX にてお申込みください。



2. 報告事項

(1) 平成 20 年度第 3 回東海支部役員会

- 日 時：平成 21 年 2 月 21 日（土）14：00～18：00
場 所：名古屋大学医学部基礎研究棟会議室
議 題： 1) 支部総会・研究会について
20 年度行事報告、20 年度決算（案）について
21 年度行事計画、21 年度予算（案）について
2) 支部役員改選について
3) 支部役員選出規定（案）について
4) その他

(2) 第 12 回技術交流会

東海支部定例の技術交流会を下記の日程で開催いたしました。今回は、日本 SLC 株式会社バイオテクニカルセンター（BT センター）をお借りして寄生虫検査をメインとした検査業務について学ぶとともに、BT センターの紹介および見学を行い、東海支部会員だけでなく、多方面から 10 名の方に参加いただきました。

- 日 程：平成 21 年 1 月 24 日（土） 13:10～16:40
会 場：日本 SLC 株式会社 BT センター
〒433-8114 静岡県浜松市中区葵東 3-5-1
内 容：検査業務について報告（寄生虫検査を含む）
寄生虫検査の現地確認
SLC BT センターの紹介、及び見学 他

【参加者からの感想文】

参加された方から、講習会の感想をいただきました。

第 12 回技術交流会に参加して

オリエンタル酵母工業株式会社(バイオ事業本部 LA センター)
瞿曇 亮太

今回、動物飼育に携わる上で重要性が高い微生物検査(外部寄生虫等)を中心とした講習ということで、日頃より実施されている方の意見をお聞きしたいと思い、第 12 回技術交流会に参加させて頂きました。

実際に作業をされている方からのパワーポイントを用いた説明により検査の流れおよび検査内容が十分に把握することができました。

次に、実際に実務者の方々に手技を見学させて頂きました。私は動物飼育を中心とした業務を行っておりますが、微生物検査の作業については実施したことがなく、教科書での知識のため、実際の作業風景に触れることにより日頃の疑問点についてその場で確認することができ、有意義な時間となりました。

何よりも今回の大きな収穫は、実験動物に携わられている大学および企業の関係者の方々と接することができたということでした。通常の業務では接することのない方々との意見を伺うことは教科書等では学べないことを吸収でき、良い経験となりました。

このような機会を与えて頂いた東海支部の役員の皆様、休日にも拘らずご教授頂いたエスエルシーの所員の皆様に感謝致します。



スライドによる説明



実技実習の様子

技術交流会に参加してみた

北陸支部
見谷 邦彦

こんにちは 東海支部の皆様方

平成19年4月に異動で、文京キャンパスから松岡キャンパスに来ました。

まずは、動物資源部門が医学部にあることさえ知らず、異動の時に見たパンフレットだけで、どのような 仕事をしているのか、見当もつきませんでした。来た年に、名古屋で行われました、実験動物技術交流会での先生方の発表を訳も分らないままに、御聞していた事を覚えています。私も、今年で早3年目に入ろうとしています、その中で先輩方が、動物の飼育管理、空調機、洗浄機オートクレーブ等メンテナンスと幅広い技術力もち、日常業務をこなす先生方にも対応して、いらっしゃるのに、感心をしています。

交流会に参加し日常仕事の中で、先輩方から指導受けていることを合わせると、いかに普段からの清潔不潔を正しく管理することと、環境測定の大事さが少しずつ、理解して来ているところで、動物達や研究を守る上でも大切な事と

だと感じます。また、モニタリングと寄生虫検査の講義を拝聴し、いかに病原菌、感染症を予防し早期に見つける事が大切であり、日ごろの飼育管理業務がいかに大切であると感じましたが、なかなか、頭の中と行動が一致しないために失敗ばかりです。

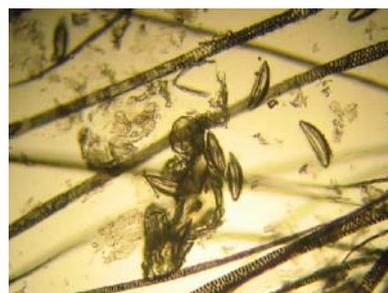
この交流会で SLC（研究員）の方が、手際よく解剖し採集してゆく、早さにも驚きました。その中で、外部寄生虫、内部寄生虫を顕微鏡で実際に見ることができたことが勉強になり、寄生虫や病原菌が出てはいけないのだけど、もしや出た場合、必要な分だけ残し安楽死させる時、いかに研究を守る上で大切な事である事を痛感いたしました。

私、まだまだ、先生方と比べれば経験も実力もない素人ですが、私のようなものでも参加し理解出来るような、資料があれば、経験のない人が参加しても、勉強になり興味を持って来ると思っています。支部長が言われていた、だれでもが参加できる勉強会がいいのでは、ないかと思えます

最後に、第12回実験動物勉強会を企画して頂いた、東海支部先生方、(SLC) 研究員の皆様方、大切な休日にお世話になり、ありがとうございました。



実技実習の様子



ぎょう虫卵 (デモ)

3. その他

(1) 年会費について

本協会は会員の皆様の会費により運営されています。本年度の会費が未納の方は至急お振込みをお願いいたします。

年会費：6,000円

振込先 名称：日本実験動物技術者協会
口座：00130-9-102291
取扱機関：落合郵便局



(2) HPについて

東海支部では、支部の活動やさまざまな情報をより早くお知らせするため、支部HPを活用しております。随時更新していきますので、ぜひ皆様もご覧ください。

また、ご意見、ご希望がありましたら東海支部事務局（担当：羽根田）までお知らせください。

HPのURLは、 HP：<http://www.jaeat-tokai.org> です。



Japanese Association for Experimental Animal Technologists TOUKAI-branch

<東海支部事務局>

〒501-6195 岐阜県各務原市川島竹早町1

エーザイ(株)安全性研究所川島研究室内（事務局長：森 郁夫）

TEL：0586-89-4722 FAX：0586-89-5482

e-mail：mailto:mailtokai@jaeat-tokai.org

HP：<http://www.jaeat-tokai.org>

2009年 3月 No. 33 発行者：小木曾 昇

発行所：日本実験動物技術者協会東海支部